ママHOT＆子育て支援センター

## 8/16 みんなあつまれ!!プール遊び

８月16日、ママのHOTステーションと子育て支援センター利用する親子を対象とした、「上小温水プールでの水遊び!!チャレンジ体験」が行われました。

この日は７組の親子が参加し、子ども達は初めてのプールにおおはしゃぎしている様子で、プールの中でボールやフラフープ、スイムヘルパーを使って親子で一緒にたくさん遊びました。

参加者からは、「プールに入れる機会があってよかった。また参加したい。」など、楽しめた様子でした。

みんなで「かっぱのすもう」を作りました

## 8/27 ジャンボ紙芝居づくり

８月27日に生涯学習センターわっかで、ジャンボ紙芝居づくりが開催されました。

お話会「カッコウ」会員の指導のもと、紙芝居「かっぱのすもう」の下絵が描かれた大きな画用紙に、色とりどりのクレヨンを使って塗りあげていきます。子ども達は、「こんなに大きな絵を色塗りするのは初めてだけど、楽しかった。」など、一生懸命取り組んでいました。なお、出来上がったジャンボ紙芝居は、お話会「カッコウ」のクリスマス会（12月開催）でお披露目される予定です。

いつまでもお元気で

## 9/1 敬老祝金を贈呈しました

今年も残念ながら「敬老会」は中止となりましたが、９月１日現在満70歳79名・満88歳52名に敬老祝金と記念品、満100歳２名には記念品の贈呈がされました。

今年は記念品に上士幌小学校放課後子ども教室で作成された想いのこもったメッセージカード、敬老祝金は「きずなの会」の手作りの水引が添えられ、100歳の方にはサポートセンターしらかばで制作された「しんちゃく袋（巾着袋）」も贈られました。

※100歳の方には誕生日に敬老祝金が贈呈されています。

上小・上中の卓球プレイヤー

## 9/1 北海道卓球選手権大会出場

９月３日から帯広市で開催される2022年度北海道卓球選手権大会に出場する、上士幌小学校５年石井菜々華さん、上士幌中学校１年石井愛菜さん、同２年大井悠聖さん、小川梨乃さんが教育長を訪問しました。

石井菜々華さんは「練習した技を活かせるようがんばる。」大井さんは「初めての全道大会。思い切ってやりたい。」、小川さんは「悔いの残らないように全力でやりたい。」、石井愛菜さんは「相手の良いところをたくさん吸収して成長したい。」と、それぞれの想いを語りました。

三年ぶりの開催です

## 8/19 納涼盆踊り

# 8・9月の まちのわだい

## 9/3 こども園うんどうかい

れんしゅうの成果を披露しました

# 上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 「ゼロカーボンかみしほろ」のロゴをご紹介します！

町では、脱炭素に向けた取り組みを一丸となって推進するため、３種類のロゴマークを作成しました。脱炭素・ゼロカーボンはSDGsと同様に、地球全体の未来を守るための世界共通の目標です。このまちから、脱炭素の取り組みを広げていけるよう、職員が力を合わせて取り組んでまいります。

ZERO CARBON HOKKAIDO KAMISHIHORO

## 本町のSDGsと脱炭素に係る取組の普及啓発活動を行っています

８月30日、東京都の全国町村会館で北海道大学主催のシンポジウムが開催され、「地域脱炭素のための自治体の取り組みと将来の展望」をテーマに、環境省、上士幌町、真庭市（岡山県）の担当者が取り組みを紹介しました。登壇した町ゼロカーボン推進課の井溪主幹は、脱炭素の先にあるまちの将来について、「町民が誇りに思える、住み続けたい、住んでみたいと思えるまち」であると話しました。

また、本町のSDGsと脱炭素に興味を持った方々が、多数視察に来ています。８月８日には宮路拓馬内閣府政務官（当時）が、翌日８月９日には、㈱三井住友銀行・角元取締役副会長を団長とする「公益財団法人関西生産性本部」の皆さんが本町を訪れ、シェアOFFICEやにっぽうの家、haretaなど、町内の施設を見学しました。

◀写真中央：宮路拓馬内閣府政務官（当時）

## ZERO CARBON HOKKAIDO KAMISHIHORO 脱炭素通信Vol.1

「脱炭素」って どうして必要なの？

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスが、地球の温暖化を引き起こしています。人間が排出する二酸化炭素の大部分は、石油・石炭・ガソリンなどの化石燃料を燃やすことによるものです。私たちがこれからも同じように化石燃料を燃やし続け、大量の二酸化炭素を出し続けると、世界中で異常気象が発生してしまいます。今年、ヨーロッパでは40℃を超える熱波が続き、たくさんの死者が出ました。日本でも、夏場の40℃近い気温が当たり前となり、大雨や洪水の被害も増加しています。

地球温暖化を止めるために、私たちはとにかく大急ぎで、人類がこれまで築き上げてきた「化石エネルギー時代」から「脱炭素の新しい生活様式」に変えていく必要があります。上士幌町は脱炭素先行地域として、できるところから一歩ずつ、脱炭素の取り組みを実行していきます。

*私たちは、気候変動の影響を受ける最初の世代であり、*
*気候変動を止めることが出来る最後の世代です。*
（環境活動家・谷口たかひさ氏の言葉　令和４年７月21日上士幌高校にて）

ZERO CARBON HOKKAIDO KAMISHIHORO



# 8・9月のまちのわだい

## 9/10 もしものときに備えて 防災訓練が行われました

９月10日、スポーツセンターにおいて上士幌町防災訓練が実施されました。この訓練では、大きな地震により住まいに被害が生じたと仮定し、自宅から避難所まで避難する場面を体験するものです。

この日は58名の町民が参加し、「あらかじめ避難ルートを体験すると、イメージが湧きやすい。」など、皆さんの意識向上に役立った様子でした。

なお、会場では防災講話や防災関連グッズの展示、協賛品の配布等も併せて行われました。

## 9/10 あなたの知識でつながる命 普通救命講習開催

上士幌消防署と株式会社生涯活躍のまちかみしほろとの共催で、普通救命講習が消防庁舎研修室で開催されました。

この講習では、いざという時のために心肺蘇生法や止血法、AEDの使い方などを学ぶもので、参加した方は「心臓マッサージが思った以上に難しい、この経験をもしもの時に役立てたい。」と感想を語りました。

この日は14名の町民が受講し、普通救命講習修了証が授与されました。

## 9/10 芸術鑑賞会 人形劇 ふしぎ駄菓子屋銭天堂

９月10日、山村開発センターにおいて芸術鑑賞会「人形劇ふしぎ駄菓子屋銭天堂」が開催されました。

映画とアニメが大ヒットし、小学生が選ぶ「こどもの本」総選挙2022年第１位となった同作を、人形劇団ひとみ座が演じるものです。

当日の会場は50名の親子連れで賑わい、コミカルでハートフルな演技に皆引き込まれている様子でした。

※児童書「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」は町図書館でも貸出しています。

▲９月11日、上士幌中学校吹奏楽部による演奏会が山村開発センターで開催されました。

▲８月25日から26日にかけて、お元気度測定会がスポーツセンターで開催されました。

令和4年度 「上高たより」

# 上士幌高校です！

文責：教頭

No.54
令和 4 年
9 月22日

## TITLE：充実の夏休み

24日間の夏休みが終わり、８月19日（金）より学校が再開されました。今年の夏は比較的気温が低くて過ごしやすく、３年ぶりに行動制限のない夏休みになったため、友人や家族と出かけた生徒達も多かったようです。バルーンフェスティバルも開催され、熱気球部が参加しました。また吹奏楽部は高文連十勝支部音楽発表大会で「最優秀賞」を受賞し、６年振りの全道大会出場を決めました。苫小牧での演奏でも自分たちのパフォーマンスを存分に発揮して欲しいと思っています。

△夜の町内に突如出現したミニオンズ

△帯広市民文化ホールで演奏する吹奏楽部

19日夜の仮装盆踊りには有志の生徒と教員が「上高ミニオンズ」で出場し、結果は４位でしたが楽しんで参加することができました。来年は優勝目指してキレのある踊りを披露したいと思います。

上士幌高校新聞局通信

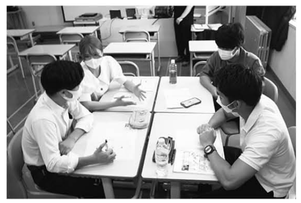
月刊 上高

## 高大連携授業で野生動物の生態調査

文責 新聞局顧問 山形 剛

３年生の選択科目「上士幌学」では、夏休み明けから町内の防風林に生息する野生動物の生態を、大学生とともに調査する授業が始まりました。８月25日の初回では帯広畜産大学環境生物学講座の浅利准教授からモモンガについてのオンライン授業と大阪にある阪南大学の森重研究室で学ぶ学生さんからリーダーシップに関する講義を受けてから、調査の下調べをしました。そして９月８日には町内の防風林へ出向き、浅利准教授とエゾリスがかじったクルミの殻やモモンガがいそうな木の穴（「樹洞」というそうです）の観察をし、畜大生のアドバイスを受けた後、１人１台ずつ、体温を感知して自動的に撮影するカメラをくくりつけてきました。何が写っているのかは半月後に判明します。

△畜大の浅利准教授によるオンライン講義でモモンガについて学びました



△大学生３人と調査の打ち合わせをしています（左下が高校生）

△防風林で自動撮影のカメラを設置しています



# 町民文芸

## 短歌

朝のドラマ終ると同時にやゝおくれきみ現われて忙ぎゆきたり　本間栞風

古椅子に夫（つま）の居ねむり頻りなるおだやかなるもどこかさびしき　尾野よし乃

ウォーキング熊出没で休みがち今日は検診気になる結果　松田理恵

久々のコスプレ参加の盆踊り四位入賞嬉しさ倍増　中濱夏希

収穫の終りし畑に雑草の青々として冷たい風ふく　高木誠也

ファイターズ今年は最下位ファン悲し来年こそは上を目指して　米森真弓

運動に歩きて向かう朝の道とんぼを見かけ秋を感じる　鈴木豊

この夏の天候不順に野菜類価格の高く買うをためらう　中村仁志

プランターの枯れ花つんで水をやり週明けの仕事今朝は涼しき　高橋博和

朝寝して家を出れば隣家（となりや）の庭にほおずき赤く色付く　小松義美

歌をより歌えるようになりたいがボイストレーニング受ける場所無く　堀籠錦之介

ここち良く友と飲みて食事をし自転車をおし帰る夏の夜　瀬戸洋明

干柿を貰いし今日は涼しさの増しきて木々も色付き早し　すみれ

足萎えになりて山行き適はねど登山の画面に癒されるたり　石川裕子

編集後記

➲ 今月号の表紙は、9月3日に開催されたこども園運動会の様子です。写真は映像デザイン推進員の土門史幸さんが撮影したものです。めんこいですね。

バルーンフェスをはじめとした、夏休み期間中の怒涛のイベントラッシュもようやくひと段落し、少し落ち着いてきました。コロナの反動か、今年は本当にイベントが多く大忙しです。体力の続く限りはがんばりたいと思いますが、続かなくなったらごめんなさい。…T

広報かみしほろ 11月号は10月25日（火） 発行予定

# 戸籍の窓口

## 令和４年 ８ 月末現在の 人口

| | |
|---|---|
| 男　性 | 2,417人（-4人） |
| 女　性 | 2,503人（-7人） |
| 人　口 | 4,920人（-11人） |
| 世帯数 | 2,607世帯（-4世帯） |

## 令和 4 年度 ふるさと納税寄付金

| | |
|---|---|
| 8 月分 | 6,001 件 |
| | 88,112,500 円 |
| 累計 | 19,588 件 |
| | 293,784,000 円 |

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※９月６日現在

## 寄　付（9/13まで）

➲ ８月30日、帯広信用金庫上士幌支店様が、町の振興のため３万円を寄付されました。